

編集室

中央大学多摩キャンパス内に3つある銀行のATM(現金自動預払機)に学生の長い行列ができる。16日と26日。保護者の給料日の翌日だろうか。

中大には首都圏1都3県以外からの学生が約4割在籍する。他大学より地方色が濃いとされる。月に2度、ふるさとの臭いのするATM周辺。仕送りを待つ学生は、長蛇の列でもスマートフォンを片手にじっと順番を待つ。目を閉じれば浮かぶ顔や景色もあるだろう。

その仕送り額が年々減っているという。最新調査では月8万8500円。家賃を除いた1日あたりの生活費は897円だ。この中から3食を賄う。仕送りは10年連続で減少し、毎年、最低額を更新している。東京地区私立大学教職員組合連合の調べで分かった。

一方で銀行などからの入学費用の借入額は平均180万7000円となり、前年度より12万1000円増えて過去最高額に達した。厳しい経済情勢が続くなか、思うような仕送りができず、子供にわびる親もいるだろう。元気でいるだろうか。ちゃんと食べているかしら。カネは本当に足りているのか。アルバイト先がブラック企業で実は困っているのでは。心配のタネは尽きない。

学内のランチタイム。節約学生は、親の汗の量を知っているのだろう。ご飯を持参し、学食でおかずだけを買う。夏は水筒に用意してきた湯茶を入れ、自販機やコンビニに背を向ける。きっと恩返しすると心に誓い、ATMの前に立つ。

「親孝行と火の用心は灰にならぬ前」と、ことわざにある。いつの日か、親をして「持つべきものは子」と言わしめたい。

(編集長 久保田茂信)

Staff

◎取材協力

学事部
各学部事務室
大学院事務室
学生部
ボランティアセンター
中央図書館

国際センター
入学センター
キャリアセンター
学友会
委員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎写真提供

A F P通信

◎学生記者

石崎春日子
田中未来
福田紗友里
佐伯綾香
山口萌絵
竹田響
澤田紫門
小野理世
西村卓真

谷藤美佳
高瀬杏菜
中村亮士
高崎莉世
増田ゆり
野村睦
山下崑
菅野誠一郎
代田知之

猪瀬春奈
山田俊輔
魚住剛司
湊和貴
今村直道
片桐将吾
長塚優佳
内藤伊音
(順不同)

◎制作協力

産経編集センター

NEXT ISSUE

『HAKUMON Chuo』2015 秋号 No.243
10月25日発行予定

学生記者が
総力取材！ **お楽しみに！**



2015 夏号 NO.242

2015年(平成27年)7月1日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048